

教室会議体制と物理教室の思い出

慈道佐代子（元物理教室図書室職員）

平成17年5月

私は、昭和38年から昭和57年までの19年間、物理学教室図書室に勤務し、その後は京都大学内の附属図書館と自然系の部局図書室を異動し、無事この3月末をもって退職した。

私の手元に昭和46年の『京都大学職員録』がある。私が持っている職員録の中で、昭和46年版が一番古い。なつかしい先生方の名前がある。物故者も多い。現広島大学長牟田泰三先生が「助手」で載っている。

京大内の自然系図書室を異動すると、物理学専攻出身者に結構お会いする。つまり、物理学を専攻し、その後教員として在職しておられるのである。異動で新しい職場に行くのは、何とも不安が多いものであるが、そのような時になつかしい顔をみると、大変嬉しく安堵感があつた。物理図書室では、ただ一利用者として見ていただけであったのに、勝手なもので急に頼りに思える存在になり、実際協力を得たことが多かった。学部や研究所の会議等においても、物理出身の教員は会議を前向きに引っ張っていくような発言が多かつたし、いつも安心して発言を聞いていた。このような時、さすが物理教室の出身者だと、全員参加型の教室のあり方についても感心していた。

私が在職していた当時の物理教室は、教室会議体制のもと、教室会議を最高の決議機関として教員人事から予算の決定まで、院生から教授に至る構成員のもとで審議・決定されていた。その教室会議の下部組織に各種委員会があつて、例えば、私の関係する委員会は図書委員会で、各研究室単位に選ばれた図書委員で構成されていた。図書委員は院生からの選出も可能で、院生から教授までが月1回開催される図書委員会で、図書室の運営に関わることから、雑誌の購入や資料の選択まで広く議論していた。職員は委員としてではなく、業務上出席していた。事務室のメンバーも同様に、庶務委員会は事務室の担当で事務室職員も参加していた。当時は会議が多いといつても不満が出ていたし、理学部内の他教室からもそのような評判であつた。しかし、院生時代から教室の運営に関わっていくので、自ずと研究に加えていわゆる自治能力や事務に対しての実務能力が培われていったと思う。

その成果が現在現れているといえる。冒頭で牟田先生のことを述べたが、物理学教室の出身者で、現在大学執行部で大学運営に携わっている方が多い。大学の変革期にあつて、難しい大学運営を任されるということは、期待と信頼を寄せられているからであろう。それは若い頃、教室会議体制のもとで教室運営に携わり厳しくもあり活発な議論に参加していたので、自然に民主的なセンスや行政手腕を身に付けた結果であると、私は物理教室の教室会議体制を評価している。

例えば、現在、次のような方々が大学の要職にある。佐賀大学長の長谷川照先生、この先生は原子核の出身で、現在学費を据え置くとして頑張っておられる。同じ原子核の出身者として元場俊雄先生は、大阪電気通信大学の学長である。大阪教育大学の稲垣卓学長は、生物物理の出身であり、3月まで京都教育大学の学長であつた村田隆紀先生は光物性の出身であつた。部局長レベルをあげるならば、学内では人間環境学研究科長の富田博之先生は物性理論の専攻である。全学共通教育機構副機構長の林哲介先生は光物性の出身である。

教育や研究に加えて所属する組織の運営に至るまで、何もかも抱えるのは現在の研究者のあり方ではないと

のご批判もあるうが、大学は、やはり、教育や研究に携わっている人たち（教員）が、運営の主体であるべきと痛感している。対外的には文部科学省を、学内的には時計台（大学事務局）を相手になかなか話しが通じなかったり、実情を把握してもらえなかったりでスムーズにできなかった経験をお持ちのはずである。そのことが、研究を思うように進展させることができなかったことはないのだろうか。私も附属図書館でやや大学事務局近くにいた経験上、実にそれを痛感している。教育や研究と運営が分離している場にいると、教員のわがままとか事務の横暴とか、そのようなことをよく耳にした。そのような表現で済ますのではなく、教育や研究を進展させていくためには、やはり教員や研究者の意見が大切で、そのためには貴重な研究時間から一定の時間を割いて、自分たちの手で運営に携わる部分がないと、目指す研究も守れなくなってくるのではないだろうか。現在活躍されている先生方をみると、教室会議体制のもとで培われた成果であると、改めて実感している。

しかし、当時、若い人たち（院生が中心）に自由に意見を言わせて下さっていた先生方（巽友正先生、浅井健次郎先生、林忠四郎先生、田中正先生等）や、教室会議体制を支えてこられた多くの方々に改めて感服する次第である。教育とは本当に息の長い事業であり、効率や競争も大切であるが、そればかりでは失うものも大きいであろう。